

救 急 科

〔到達目標〕

■GIO (一般目標)

当科における研修目標は下記の3項目とする。

- ① 救急初療室において救急患者の初療が出来る。
- ② ICUおよびHCUにおける重症患者管理を理解し、チームの一員として治療に参加出来る。

■SBOs (行動目標)

〈救急初療室〉

- (1) バイタルサインを正しく解釈出来る
- (2) 正確に理学所見をとることが出来る。
- (3) 第一印象・PS・SSを用いて、救急患者の初期対応が出来る。
- (4) ABCDEアプローチを理解し、実践出来る。
- (5) 診断に必要な検査を立案・実施し、結果を正しく解釈出来る。
- (6) 気管挿管の適応を判断し、正しい手技で実施出来る。
- (7) 安全にCVCの挿入が出来る。
- (8) ショックの病態を理解し、迅速に診断が出来る。
- (9) ショックの病態に合わせた初期治療を実施出来る。
- (10) 敗血症性ショックに対しては、EGDTが実施出来る。
- (11) 酸素化・換気・仕事量の観点から呼吸不全を判断し適切な呼吸サポートが出来る。
- (12) 頻度の高い救急疾患の初期対応が出来る。
- (13) 専門診療科に適切にコンサルテーションが出来る。

〈病棟管理〉

- (1) PSV・SIMV・A/Cの違いが理解出来る。
- (2) PCとVCの違いが理解出来る。
- (3) PSとPEEPの意義を理解出来る。
- (4) 急性血液浄化療法の適応を判断出来る。
- (5) 重症細菌感染症に対して、適切な抗菌薬を選択出来る。
- (6) 肺炎・尿路感染などのcommon diseaseの治療を行える。

〈チーム医療／倫理〉

- (1) 他職種とコミュニケーションを図り、チーム医療が実践できる。
- (2) 患者・家族に対して、分かり易い病状説明が出来る。
- (3) 患者・家族の心情を理解した上で、『悪い知らせ』を告知出来る。

■LS (方略)

- ① 指導医のもと救急搬入患者の初療および病棟入院患者の治療を行う。各症例に関しては、出来る限りその場でのフィードバックを行うものとする。
- ② 毎日1回程度、ミニレクチャーを行うものとする。
- ③ 関連カンファレンス・症例検討会には積極的に参加する。

■Ev (評価)

- ① EPOCを用いた自己評価
- ② EPOCを用いた指導医による総合的評価